



青南だより

令和2年1月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<今こそ、自立のとき>

新年あけましておめでとうございます。今年度も、残すところ3か月となりました。年長組の教育日数は48日。そして、もうすぐ小学生です。朝、家を出る時刻は今よりも3~40分は早くなります。登校する1時間前には起きて、食事と排便を済ませて家を出られるように、今から準備をしていきましょう。登園する際の持ち物の確認や身支度は自分でできていますか？当たり前のことですが、最初はお手本を示し、丁寧に教え、少しずつ手を引いていくやり方で、できることを増やしていきましょう。

<自分でできることは任せて>

帰りの会では、一日の振り返りや翌日の見通しを話し合い、右の写真のように共有することで、子どもたちが先の見通しをもって生活できるようにしています。教師に言われて動くのではなく、日々の活動に自分事として主体的に関わるための、年長児向けの環境の工夫です。一人一人の育ってきている面は微妙に違いますので、育ちに応じて任せるべきところを大人が見定めていくことが必要になります。対応の仕方は一緒に考えていきますので、保護者の皆さんも遠慮なく、担任などにご相談ください。

<冬の自然も楽しみましょう>

自然とのかかわりは、冬でもいろいろと楽しみがあります。カエデの葉っぱはほとんどが散り、一緒に種子も落ちてきています。風に吹かれてクルクルと舞いながら、より遠くへ飛ばうとする自然が作り出した不思議な形です。畑の大根も、ようやくそれらしく育ってきました。年末に収穫した里芋は、葉っぱの割に小さめの芋が僅かしか採れませんでした。他の冬野菜はどうでしょうか？人間の思い通りにはならない体験になるかもしれませんが、土の中の様子を想像する時間も楽しみたいと思います。



2020年、オリンピックイヤーの始まりです



見通しをもって生活するための掲示の工夫



きれいに整理することで片付けも主体的に



カエデの葉っぱや種子も遊びと学びの教材です



寒い中でも大根が随分大きくなってきました

・・・睦月(むつき)・・・

青南の 二十四節気

小寒(6日) … 青く澄んだ空に冷たい風が吹きます …

大寒(20日) … 厳しい寒さに氷や霜柱が見られる日も …

この冬のかえでの紅葉は昨年よりも早く、年明けにはすっかり枝だけになっていました。乾燥する冬は、わくわく池の水が干上がることもあります。寒さが厳しい日には、水やりをしたところに霜柱ができることもあります。冬本番を迎えています。とは言え。都内では氷点下になる日は多くありません。氷や霜柱、雪などはタイミングを逃しては見ることや触れることができませんから、その際には少しでも関わりがもてるようにしていきますので、身支度などのご協力をお願いします。寒さに負けず、元気に戶外遊びも進めていきたいと思ひます。